

③ 両生類・爬虫類

概要

「両生類」や「爬虫類」は、もともと林や草地、水辺などが大好きです。もっぱら、春先から暖かくなっていく季節に卵を産み、どんどん餌を食べて大きく成長します。両生類も爬虫類も、哺乳類や鳥類などと比べると、長距離を素早く走ったり飛んだりすることができません。そんな習性と、畑などの減少、農薬の影響などが加わって、今ではめっきり少なくなっていました。

両生類

今回も、サンショウウオ類は見つかりませんでした。カエルの仲間は 6 種類（アマガエル、トノサマガエル、ウシガエル、ヌマガエル、モリアオガエル、アカガエル）がいました。歌や絵本などで親しまれているトノサマガエルは、水田でほんのわずかが見つかりませんでした。

なお、モリアオガエルは誰かが持ち込んできたようです。万博記念公園にはモリアオガエルの他にニホンアカガエルも多数棲んでいます。

爬虫類

カメの仲間は 3 種類、トカゲの仲間も 3 種類見つかりました。ジムグリが今回は見つからず、ヘビが 2 種類に減りました。また、10 年前と同様に、おとなしいヒバカリ、毒のあるマムシとヤマカガシは今回も見られませんでした。ため池のある区域ではどこでも相変わらず外来種のアカミミガメが多く、アカミミガメ以外のカメは減りつつあるようです。トカゲ、カナヘビはほぼ全区域にいることがわかりました。

いることがわかった両生類・爬虫類

	科名	: 種名
(両生類)	無尾目アマガエル科:	ニホンアマガエル
	無尾目アカガエル科:	ニホンアカガエル、トノサマガエル、ウシガエル、ヌマガエル
	無尾目アオガエル科:	モリアオガエル
(爬虫類)	カメ目イシガメ科:	ニホンイシガメ、クサガメ
	カメ目ヌマガメ科:	ミシシippiaアカミミガメ
	有鱗目ヤモリ科:	ニホンヤモリ
	有鱗目トカゲ科:	ニホントカゲ
	有鱗目カナヘビ科:	ニホンカナヘビ
	有鱗目ナミヘビ科:	シマヘビ、アオダイショウ
	計 3 目 9 科 14 種	
	(同定が不確実な「アカガエル属の一種」はニホンアカガエルと見なしました。)	



クサガメ



カナヘビ



ヤモリ



シマヘビ

コラム

漫画でカエルの声というと、たいていケロケロとかゲロゲロ、ゲーコゲーコなどと書きます。これは、主にトノサマガエルやアマガエルなどの声です。水田に近いところでは、田植え直後にはこれらのカエルの大合唱で夜眠れないこともあります。

トノサマガエルの体はややスマートな形で、背中模様もすっきりしています。背筋を伸ばして地面にきちんと座っている姿から、こう名付けられたようです。

そう考えるとトノサマに近縁のダルマガエルの姿は……。ちょっとアナタ、横を向かないで……。

ダルマガエルは絶滅危惧Ⅱ類



保護色のトノサマガエル